

平成30年度 社団法人
岐阜県臨床検査技師会 精度管理報告会

各研究班精度管理調査結果報告

輸血検査

氏名 八木 良仁(県立多治見病院)



参加状況

参加施設数 34 施設 (34)

血液型検査 34 施設 (34)

不規則性抗体スクリーニング 26 施設 (26)

不規則性抗体同定 16 施設 (16)

試験管法による凝集価 28 施設 (28)

()は昨年度

<配布試料>

試料№51・52

愛知赤十字血液センターの協力により、検査で不適となった献血者由来の血液に 関東甲信越ブロック血液センターの協力により抗血清の供与を受け、添加したものをを用いた。

試料№53-1

抗D血清非添加アルブミン添加生理食塩水

試料№53-2

試料№53-3をアルブミン添加生理食塩水で 2^5 (5管差)に希釈したもの

試料№53-3

抗D血清をアルブミン添加生理食塩水で $\times 10$ に希釈したもの

＜試料内容の検証＞

血液型

試験管法 カラム凝集法にて判定し確認した。

不規則性抗体検査

試験管法

生理食塩水法・ブロミン法・アルブミン-クームス法・PEGクームス法

カラム凝集法

フィソ法・LISSクームス法

で判定し確認した

評価基準<血液型>

以下の判定を評価Aとした

(おもて試験・うら試験の凝集価については評価対象外)

試料No.51

ABO: O型 RhD: 陽性

試料No.52

ABO: AB型 RhD: 陽性

※それ以外の回答は 評価Dとした。

評価基準<不規則性抗体>

各法(生理食塩水法・酵素法・間接抗グロブリン法)の判定結果は評価対象外とし以下の判定を評価Aとした

試料No.51

スクリーニング： 陽性, 抗体同定： 抗C

試料No.52

スクリーニング： 陽性, 抗体同定： 抗S

それ以外は評価D

評価基準<凝集価>

<No53-1>

『陰性』を評価A それ以外を評価D

<No53-2>

『2+』『+』を評価A 『3+』評価B それ以外を評価D

<No53-3>

『4+』を評価A 『3+』評価B それ以外を評価D

抗体価

<No53-1>

『未実施』『検査不要』を評価A それ以外を評価D

<No53-2>

『2倍』『4倍』『8倍』を評価A

『16倍』を評価B それ以外を評価D

<No53-3>

『64倍』『128倍』『256倍』を評価A

『32倍』『512倍以上』を評価B それ以外を評価D

正解率

試料No.51

血液型検査

ABO 100%

RhD 100%

不規則性抗体検査

スクリーニング[〃] 100%

抗体同定 100%

試料No.52

血液型検査

ABO 100%

RhD 100%

不規則性抗体検査

スクリーニング[〃] 100%

抗体同定 100%

正解率<凝集価>

試料No.53-1

評価A 100%

試料No.53-2

評価A 92.9%

評価B 7.1%

試料No.53-3

評価A 96.4%

評価B 3.6%

正解率<抗体価>

試料No.53-1

評価A 100%

試料No.53-2

評価A 96.7%

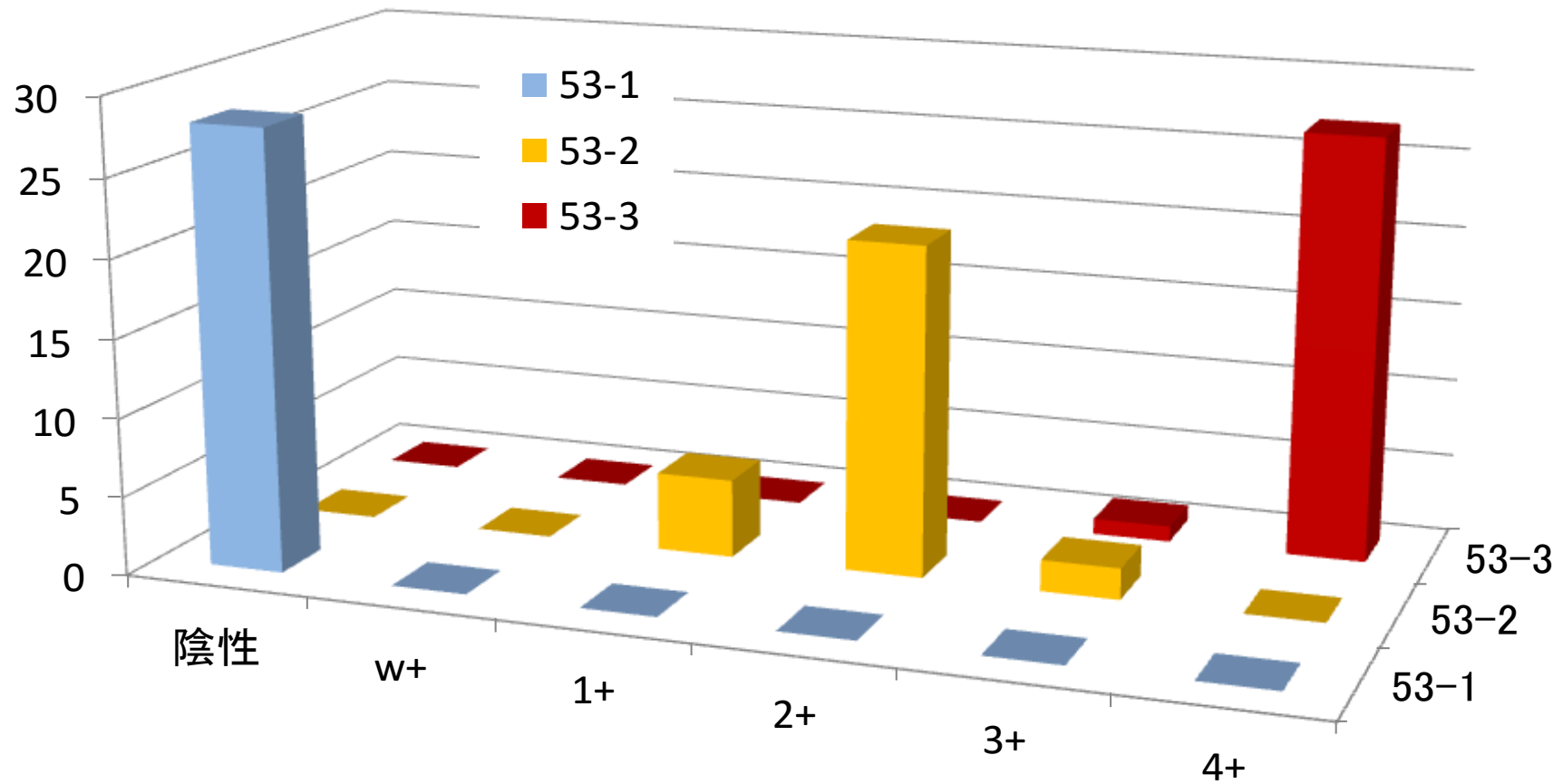
評価B 3.6%

試料No.53-3

評価A 85.7%

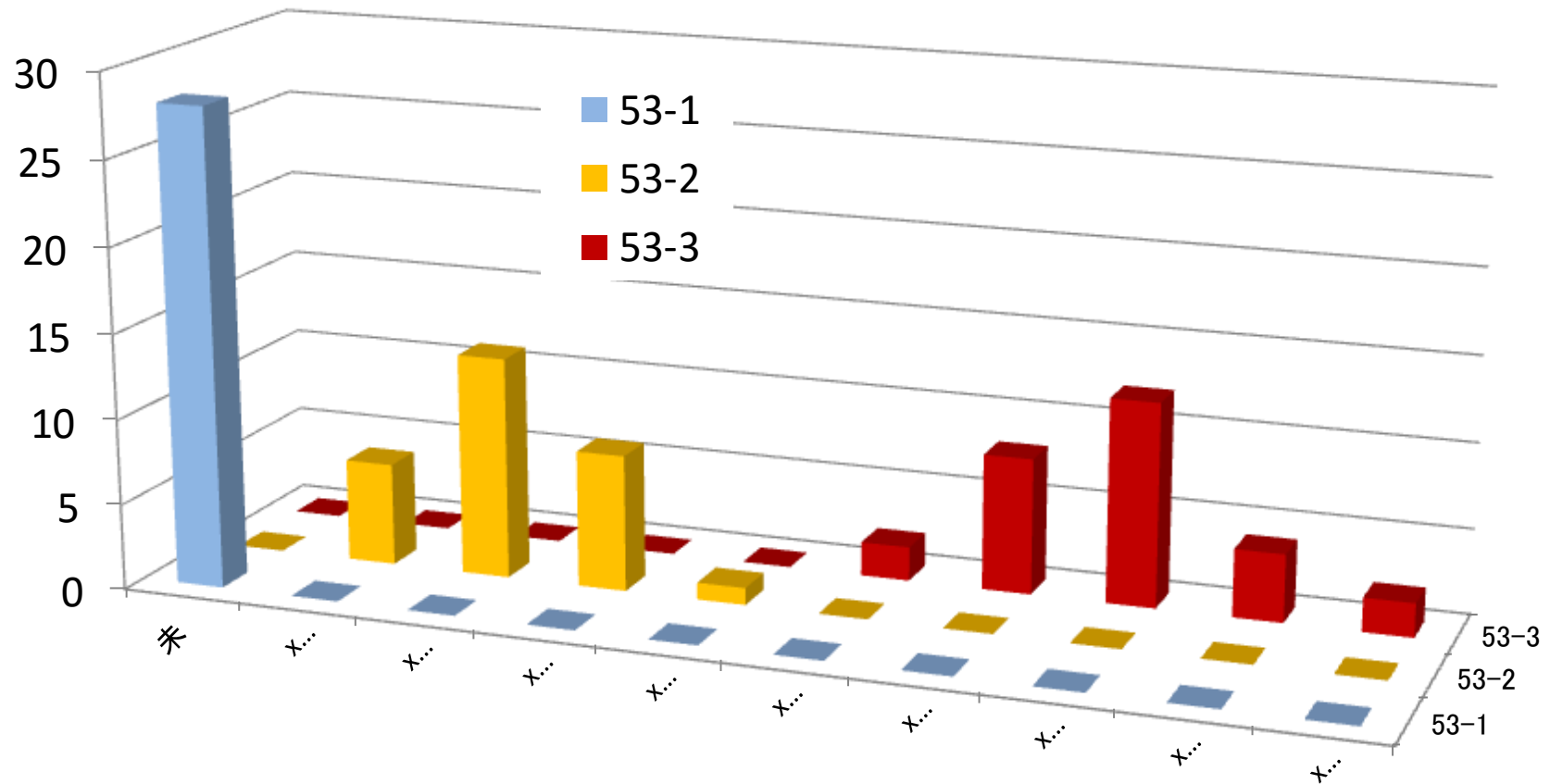
評価B 14.3%

試験管法による凝集価の判定



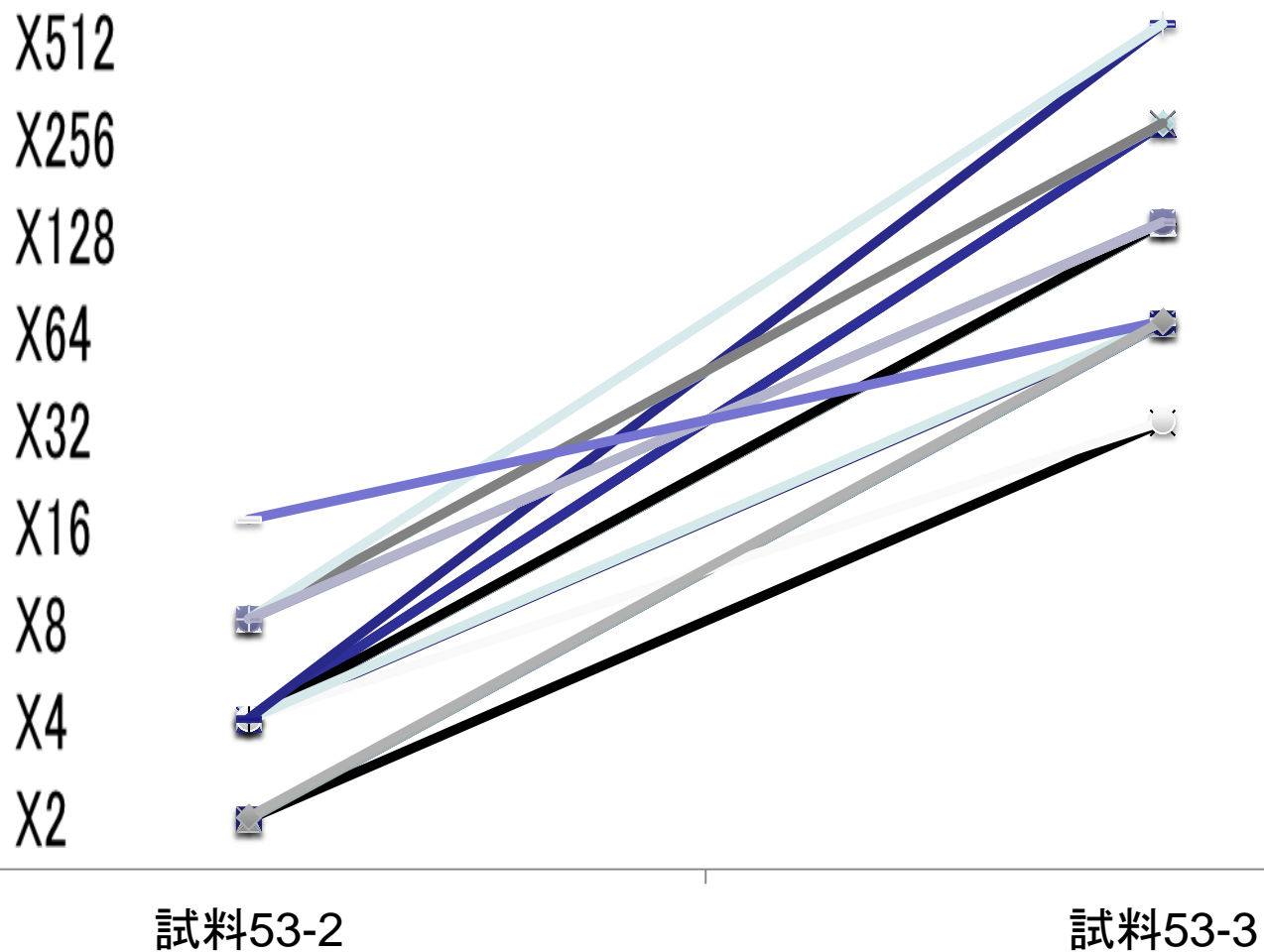
部門別 精度管理調査結果報告(輸血検査)

試験管法による抗体価の判定



各部門 精度管理調査結果報告(輸血検査)

試料53-2 と 試料53-3の 管差



各部門 精度管理調査結果報告(輸血検査)

試料53-2 と 試料53-3の 管差

2管差	1
3管差	1
4管差	8
5管差	14
6管差	3
7管差	1

<ABO血液型うら試験結果>

- ABO血液型うら試験において、O型血球との判定を実施している施設は 4施設であった。
- 試料51のうら試験における、B血球との凝集価の状況は下表のとおりであった

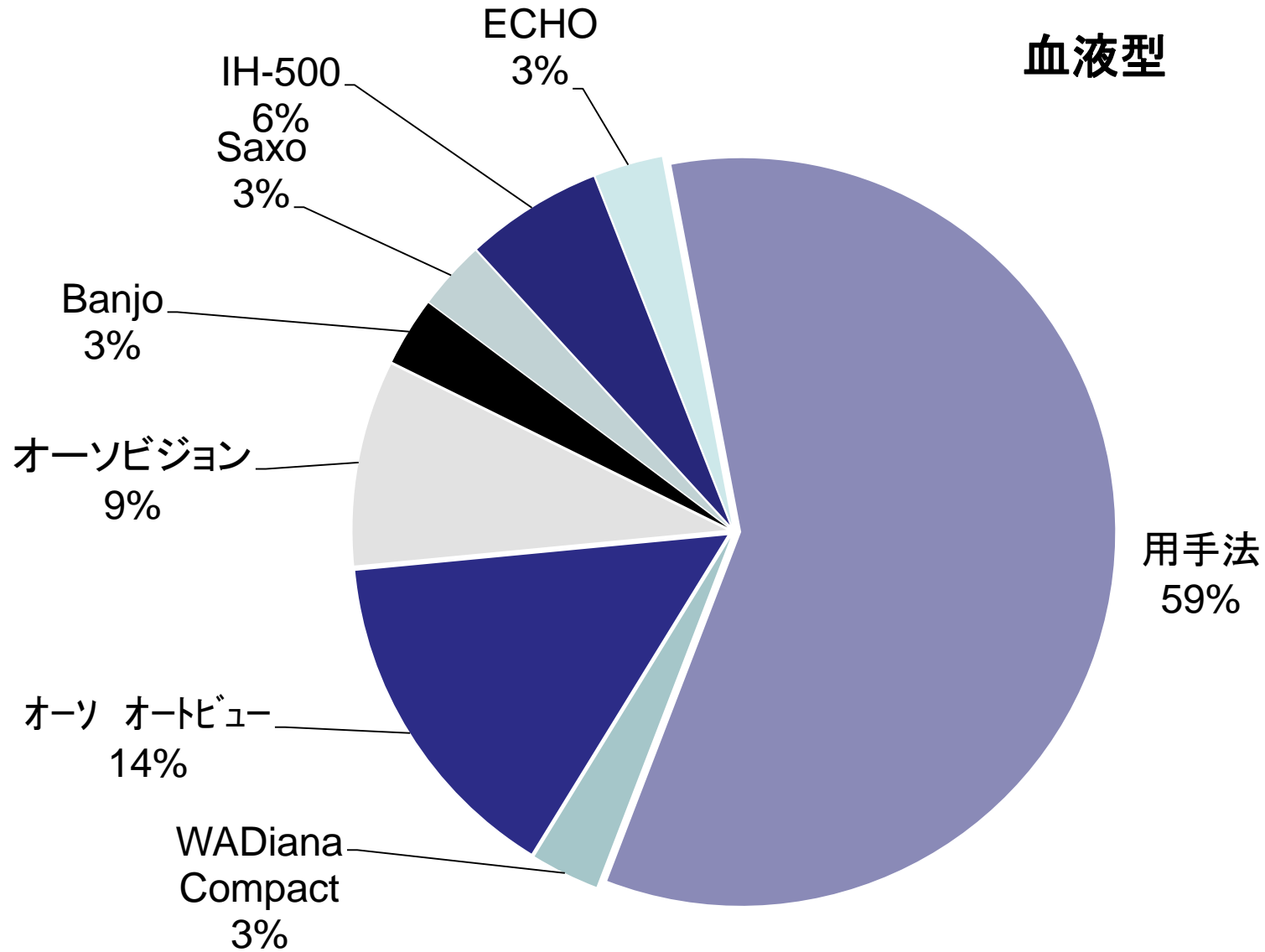
	カラム凝集法	マイクロプレート法	試験管法
1+			1
2+			1
3+	12	1	7
4+	3		9

部門別 精度管理調査結果報告(輸血検査)

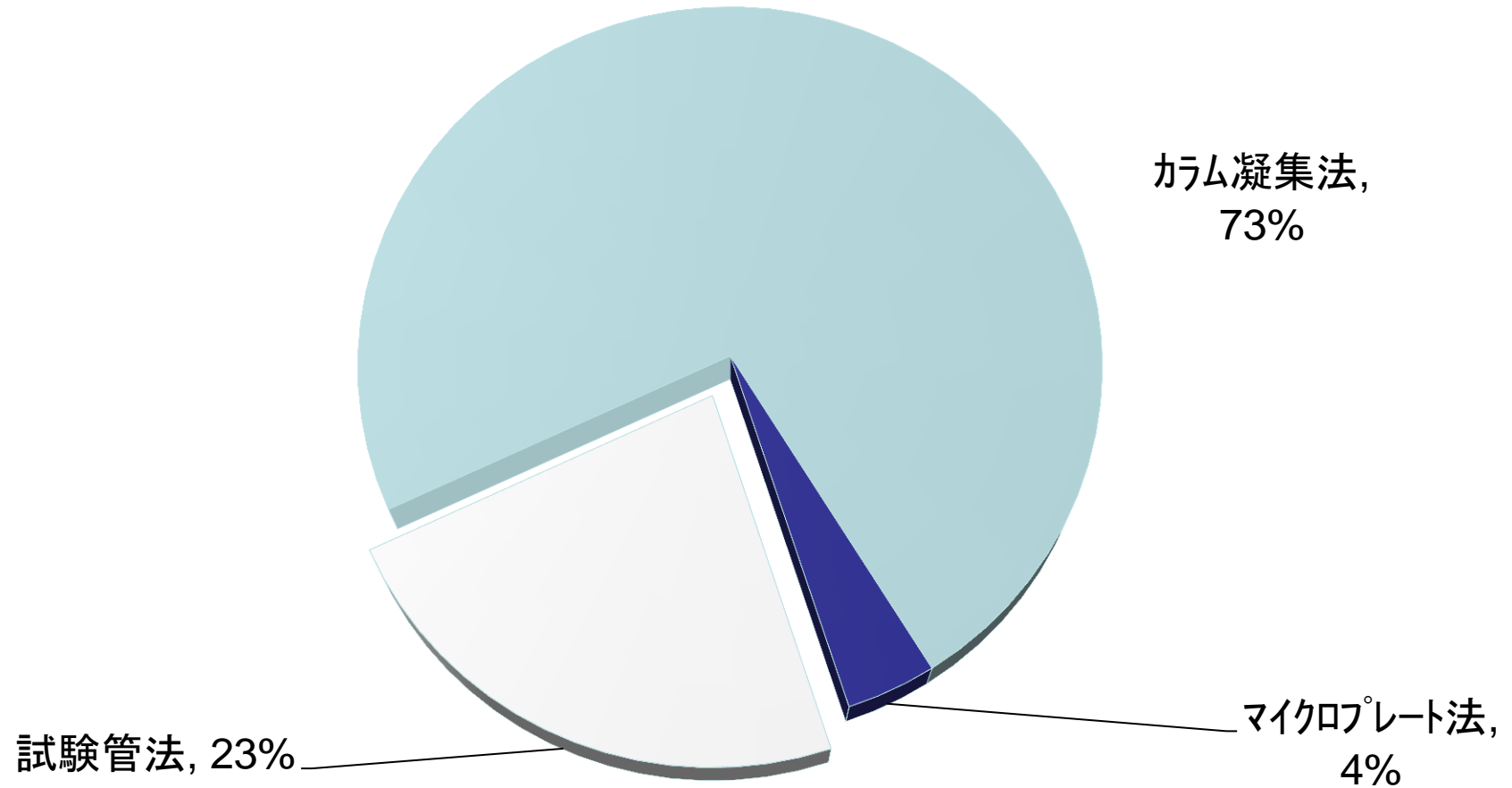
不規則性抗体スクリーニング検査法

	生理食塩水法	酵素法	間接抗グロブリン法	合計
実施の有無	未実施	未実施	実施	9
	未実施	実施	実施	11
	実施	未実施	実施	4
	実施	実施	実施	2
実施施設数	6	13	26	26

部門別 精度管理調査結果報告(輸血検査)



不規則抗体スクリーニング



まとめ

- 全ての項目で、良好な結果であった
- サーベイに適した試料の確保が課題
- ABOウラ試験でのO型赤血球の必要性？
- 今回も、関東甲信越ブロック血液センターより抗血清の供与を受け添加したものを使用した
- 輸血検査を実施している県下全施設が、積極的に参加されることが望まれる